

2) 第2回調査(平成27年2月24日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-60に示した。調査日には9.5mmの降雨が確認されたことから、雨天時の陸域調査として実施した。また、調査当日の毎時雨量を図4.4-61に示した。

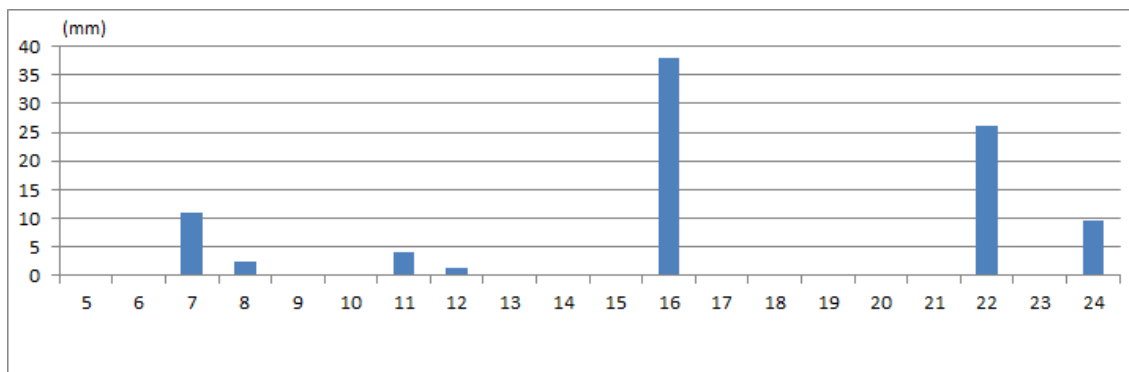


図 4.4-60 調査日前20日間の降雨状況(伊原間観測所)

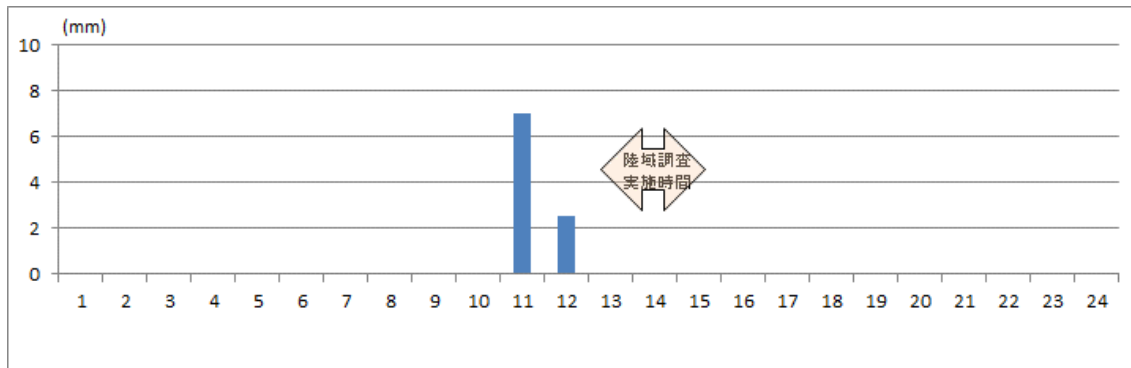


図 4.4-61 踏査当日の降雨状況(伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-62 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

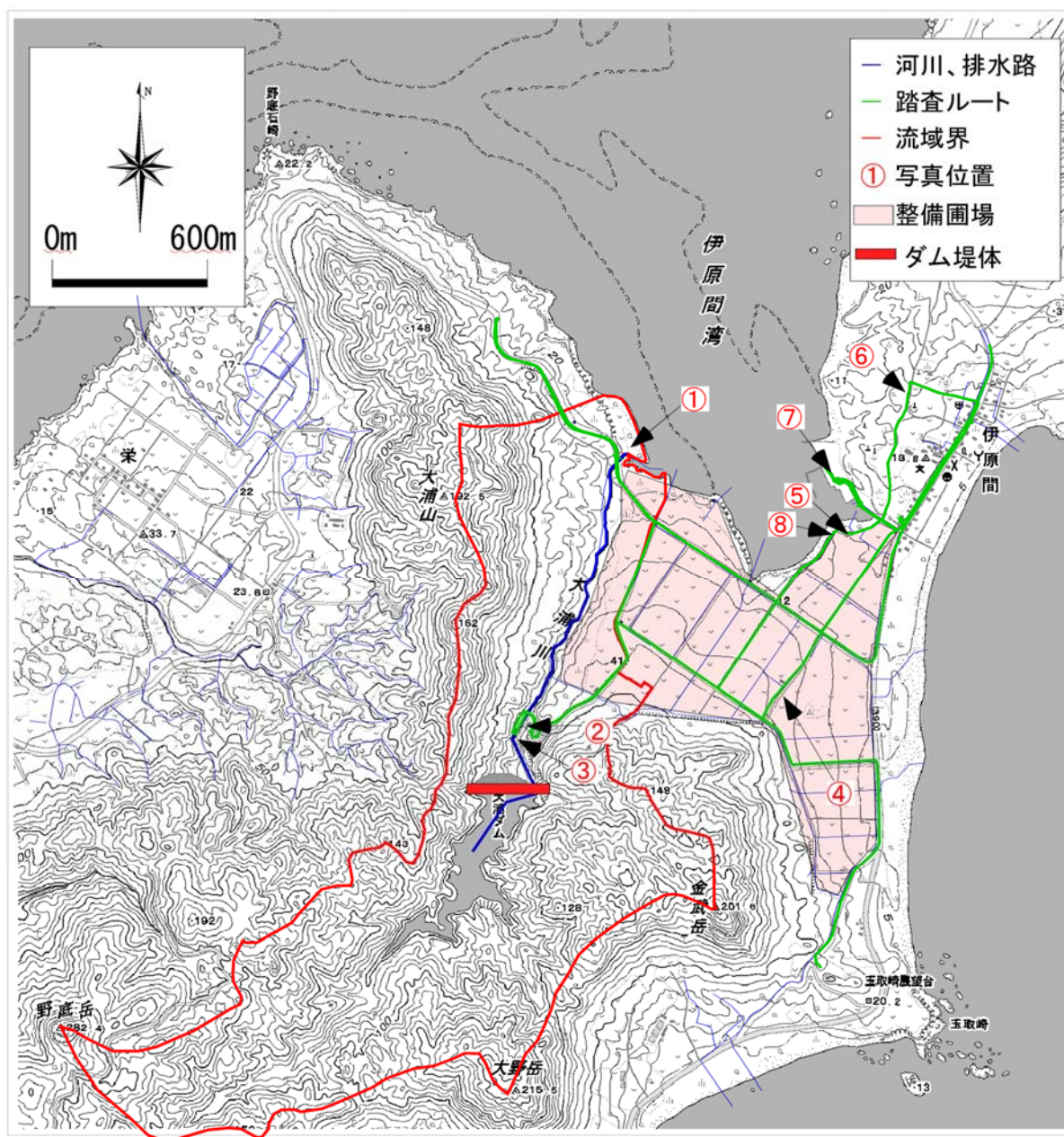


図 4.4-62 大浦川河口 陸域調査概要(2回目)

- ・ 河口部においては恒常的に泥が堆積しているものの、濁りは確認されなかった(地点)。また、中流部においても濁りは確認されなかった(地点)。10mm程度の降雨量では、河口への赤土流出の可能性は低いと考えられる。



地点 河口域(泥が堆積)(第1回目地点)



地点 中流域(濁り無し)(第1回目地点)

- ・ H26 年度 1 回目調査時に造成裸地が確認された大浦ダム直下付近の地点 では、造成中に赤土流出防止用として縁に残されていた草本に加え、区画内においても草本が確認された。以上から、赤土流出の可能性は少ないと考えられる。



地点 造成裸地の経過状況(第1回目地点)

- ・ 流域内には、H26 年度同様に赤土流出の可能性の低いと考えられる牧草地やサトウキビ畑が広がっていた(地点)。しかし、一部刈り取りが行われたサトウキビ畑において、赤土流出が懸念された(地点)。



地点 サトウキビ畑(第1回目地点)



地点 刈り取り後のサトウキビ畑

- ・ 地点 においては、新規造成地が確認された。規模は 50m×50m 程度であったが、看板は確認できなかった。規模の大きさから、赤土流出の懸念がある。



地点 新規造成地の状況



地点 新規造成地の状況

- ・ 船越港では浚渫工事がおこなわれていた（地点 ）。工事用重機を載せた台船の周りにはシルトプロテクターも確認されており、海域への配慮がなされているようであった。



地点 工事看板



地点 浚渫工事状況



地点 浚渫工事の概観

(13) 吹通川河口流域

1) 第1回調査(平成26年11月6日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-63に示した。調査日には雨が降らなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

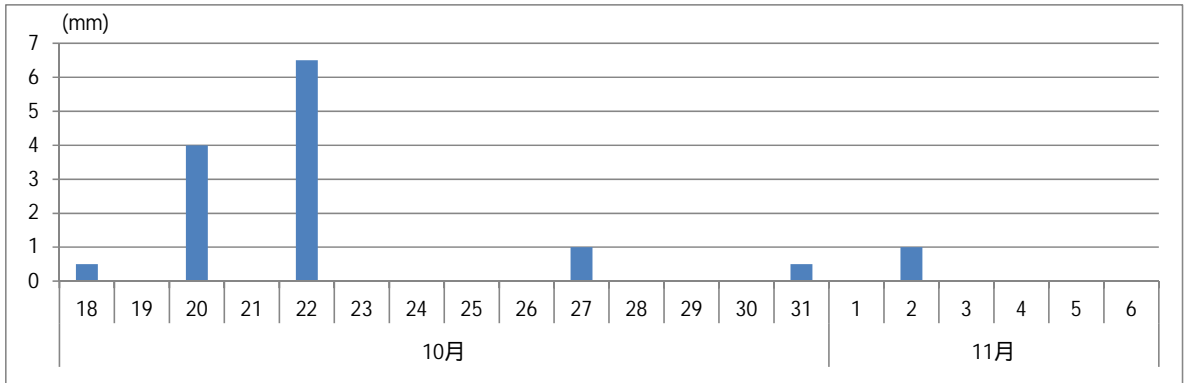


図 4.4-63 調査日前20日間の降雨状況(伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-64 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

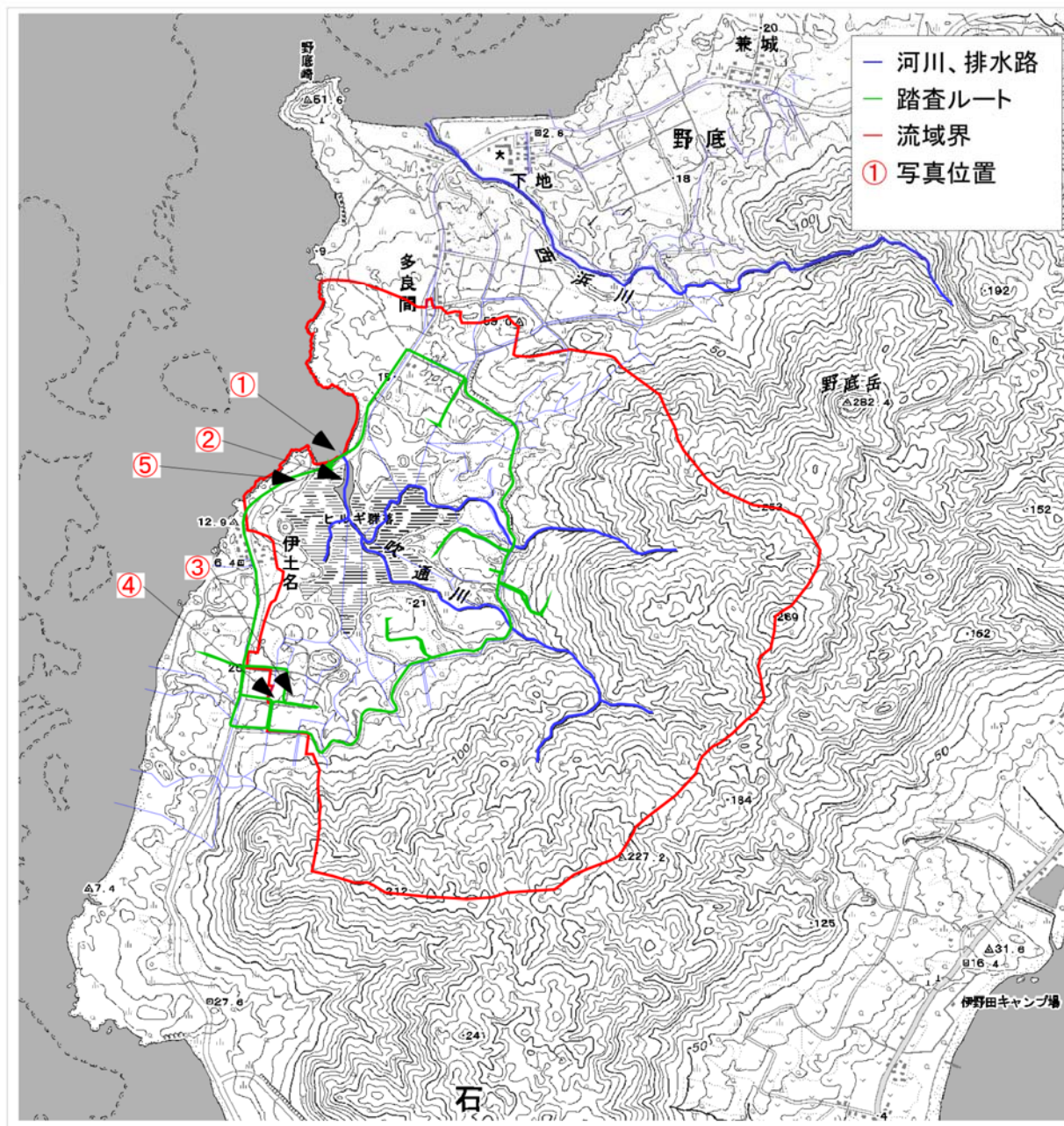


図 4.4-64 吹通川河口 陸域調査概要(1回目)

- ・ 河口部において、濁りは殆ど確認されなかった(地点)。なお、本河口部においては、広大なマングローブ林が広がっていた(地点)。



地点 河口域(濁り無し)



地点 河口域(濁り無し)

- ・ 流域内には赤土等流出痕、流出可能性がある畑等が複数確認された。
- ・ 地点 では昨年度同様流出可能性が高い状態および流出痕が確認された。



地点 流出可能性がある箇所



地点 昨年度第2回時(2月)状況



地点 道路への流出状況



地点 昨年度第2回時(2月)状況

- ・ 地点 では昨年度2月では裸地にマルチングがされていたが、今回はサトウキビの苗木が植えられた状態で、裸地が増え、流出可能性が増加していた。



地点 流出可能性が高くなった



地点 昨年度第2回時(2月)状況

2) 第2回調査(平成27年2月24日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-65に示した。調査日当日には9.5mmの雨が降っていたことから、降雨時の調査として実施した。また調査当日の毎時雨量を図4.4-66に示した。

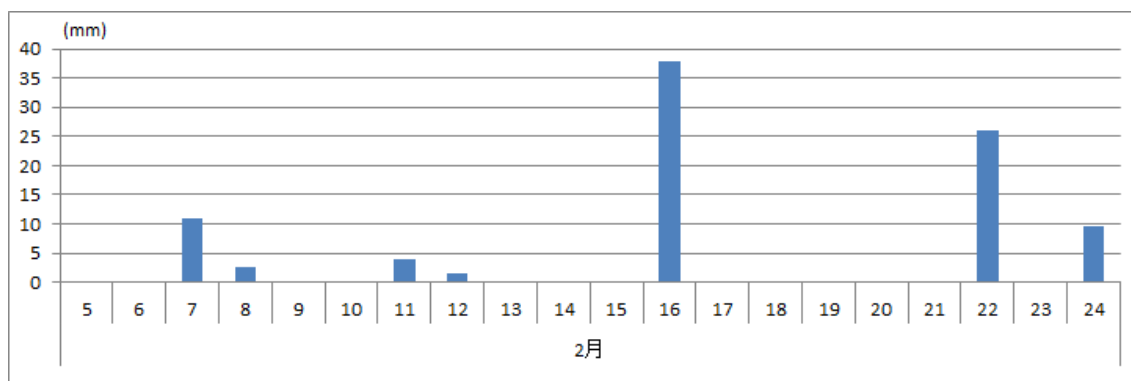


図 4.4-65 調査日前20日間の降雨状況(伊原間観測所)

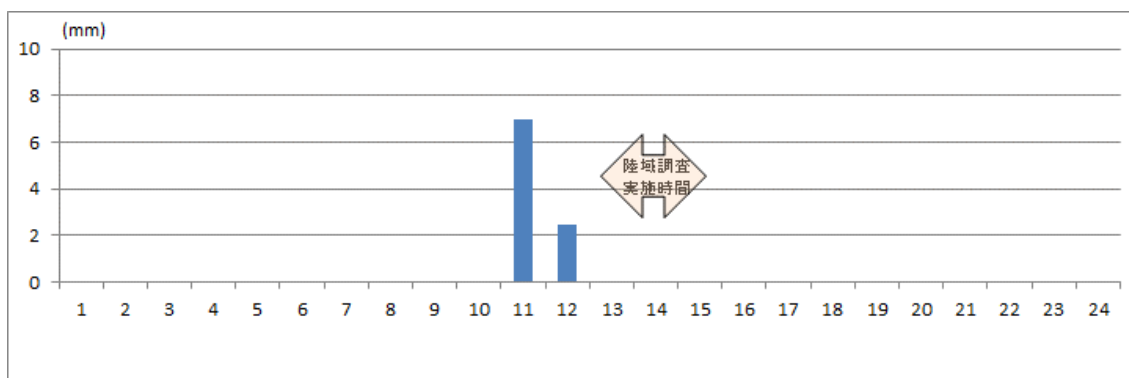


図 4.4-66 調査日当日の降雨状況 (伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-67 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

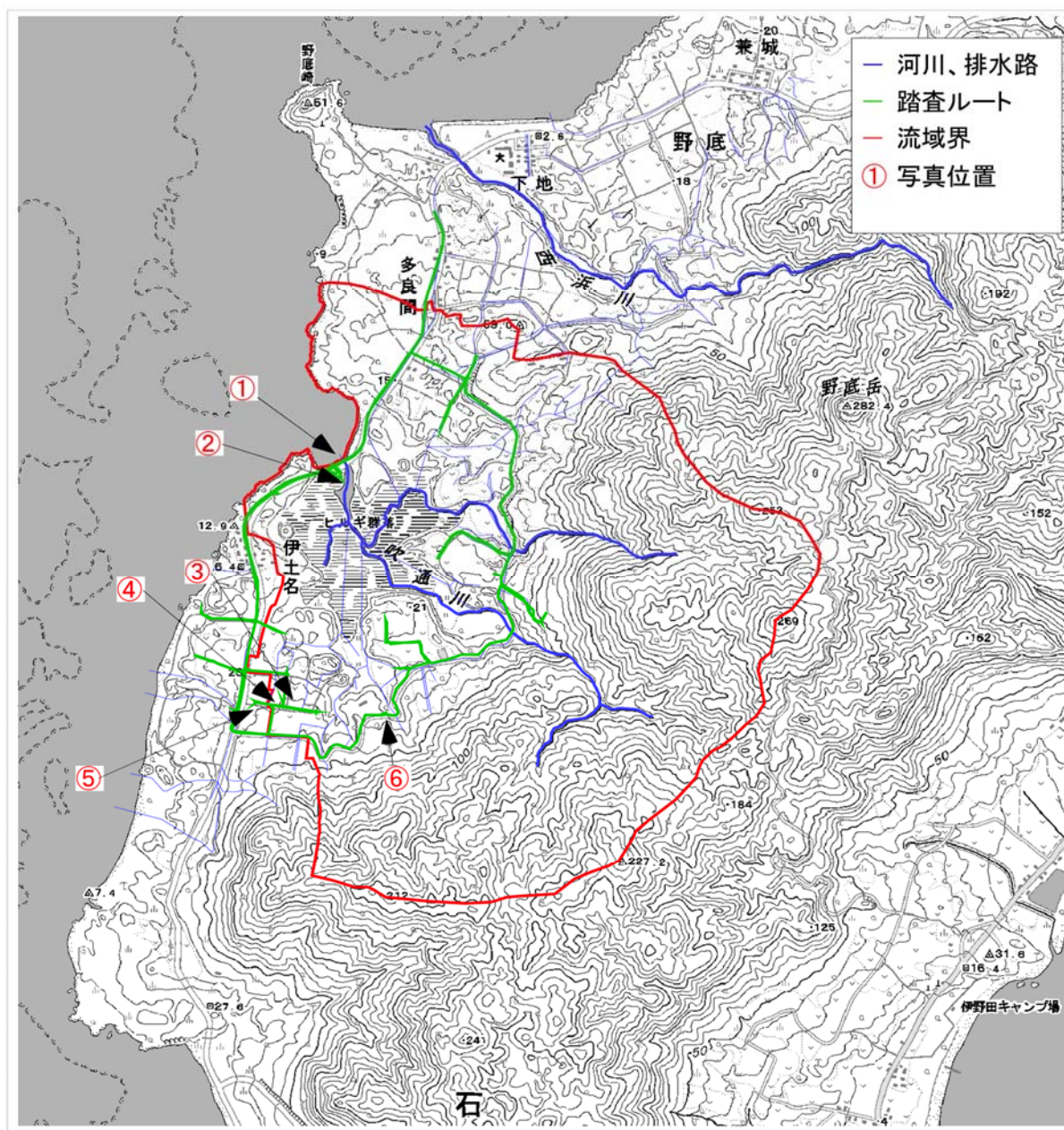


図 4.4-67 吹通川河口 陸域調査概要(2回目)

- ・ 河口部において、濁りは確認されなかった(地点)。調査日当日の 10mm 程度の降雨では、赤土流出の影響が少ないと考えられる。



地点 河口域(濁り無し)



地点 河口域(濁り無し)

- ・ H26 年度第 1 回調査時に赤土等流出痕、流出可能性がある畑の一部に改善が確認された。
- ・ 地点 ではマルチングが、地点 草本が茂っており、赤土流出の可能性が減少した。また H25 年度調査にて確認された道路沿いの側溝は埋もれていていた。



地点 流出可能性がある箇所(去年度地点)



地点 道路への流出状況(第 1 回目地点)

- ・ 地点 では、H26 年度第 1 回調査時と同様、サトウキビの苗木が植えられた状態で、裸地が増え、流出可能性が増加していた。また、同地点での道路への赤土流出が確認された。



地点 赤土流出の可能性が高い畑(第 1 回目調査地点)



地点 周辺への流出痕

- ・ 地点 では、土砂崩れが確認された。既に草本が覆い、土砂自体からの赤土流出の可能性は高くないと考えられる。しかし土砂が溝を埋めており、降雨時には周辺への赤土流出が懸念された。



地点 土砂崩れの状況(溝を越え道路まで流れている)

(14) 浦底湾

1) 第1回調査(平成26年11月7日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-68に示した。調査日には雨が降らなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

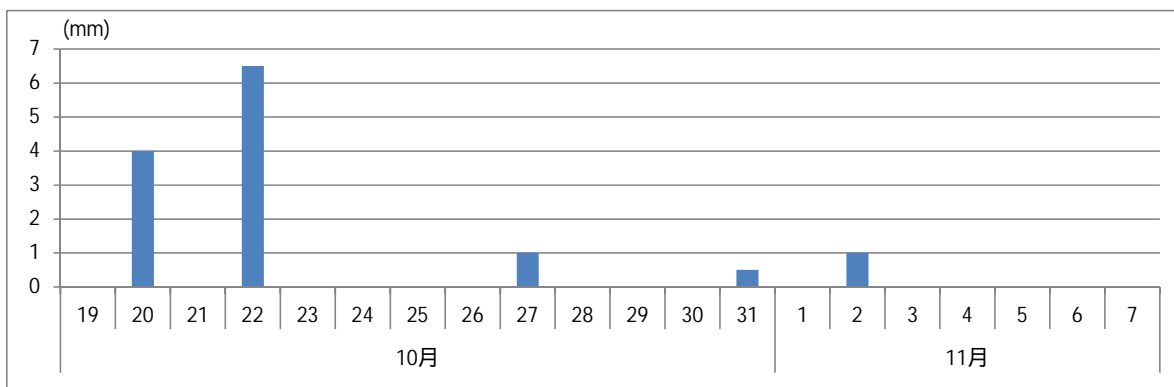


図 4.4-68 調査日前20日間の降雨状況(伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-69 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

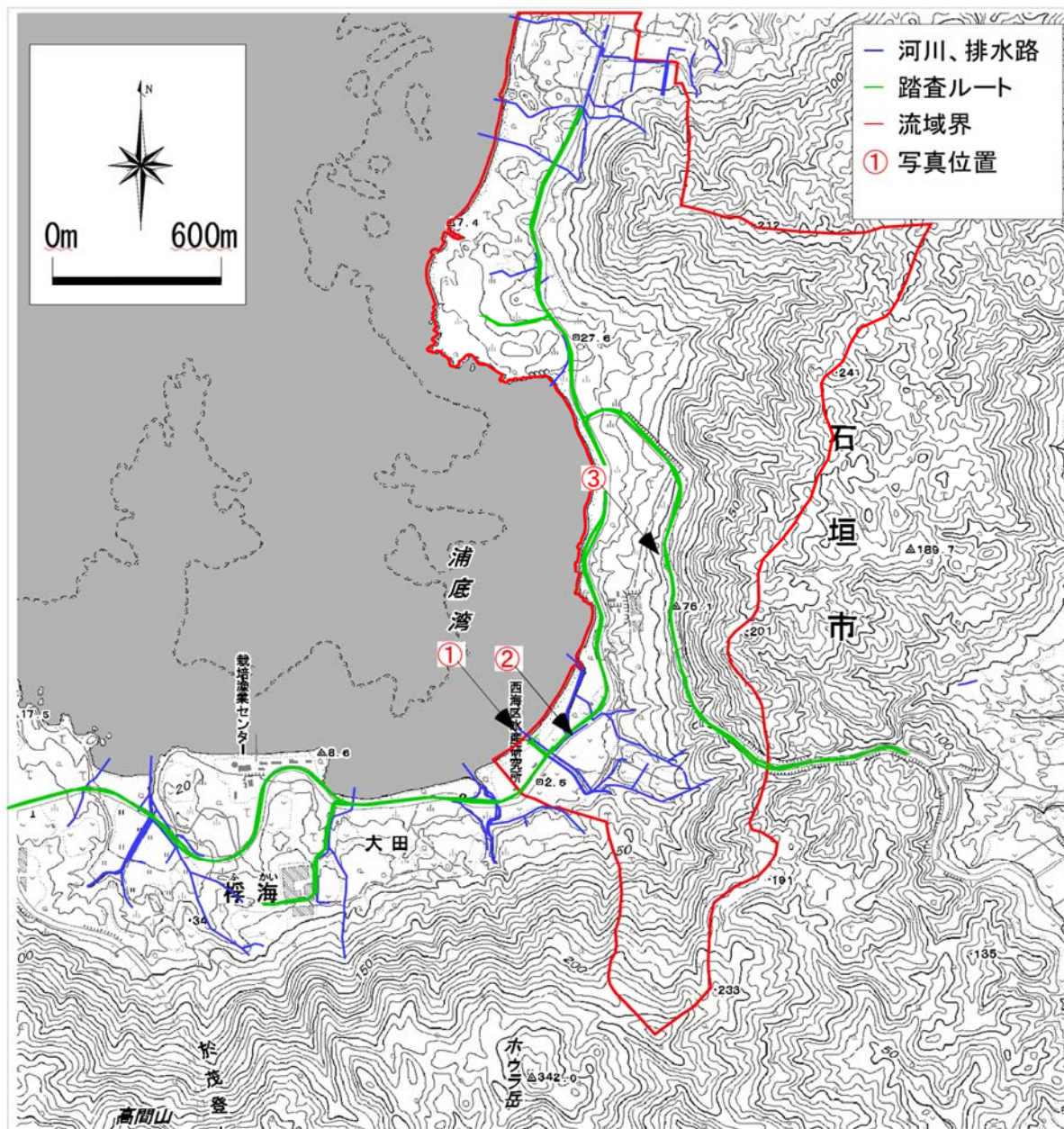


図 4.4-69 浦底湾 陸域調査概要(1回目)

- ・ 河口部においては、流量が少ないため河口閉塞しており、また濁りも確認されなかった(地点)。



地点 河口閉塞(濁り無し)

- ・ 流域内には、草地と山林が広がっており、流出源となりうるような箇所は殆ど確認されなかった(地点)。



地点 草地と山林が広がる。

- ・ また、今回新たに道路沿いに 20m × 10m 程の小規模な造成裸地が確認された(地点)。



地点 小規模な造成裸地

2) 第1回調査(平成27年2月25日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-70示した。調査日には雨が降らなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

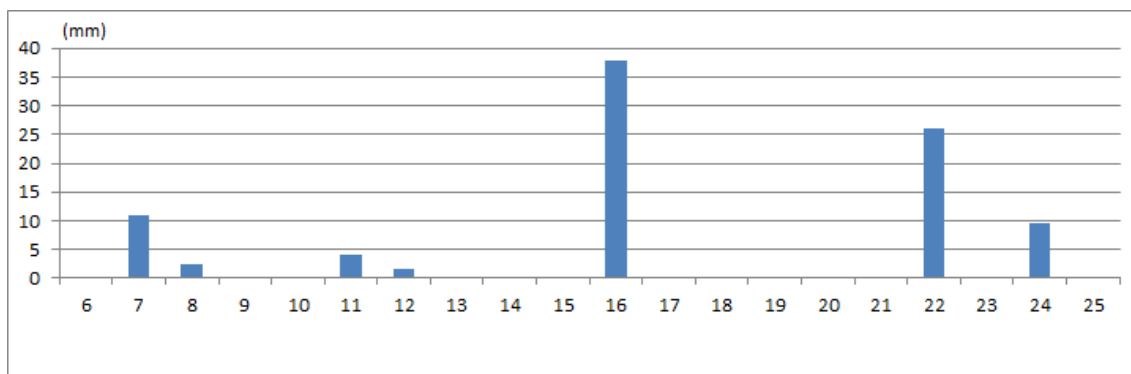


図 4.4-70 調査日前20日間の降雨状況(伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-71 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

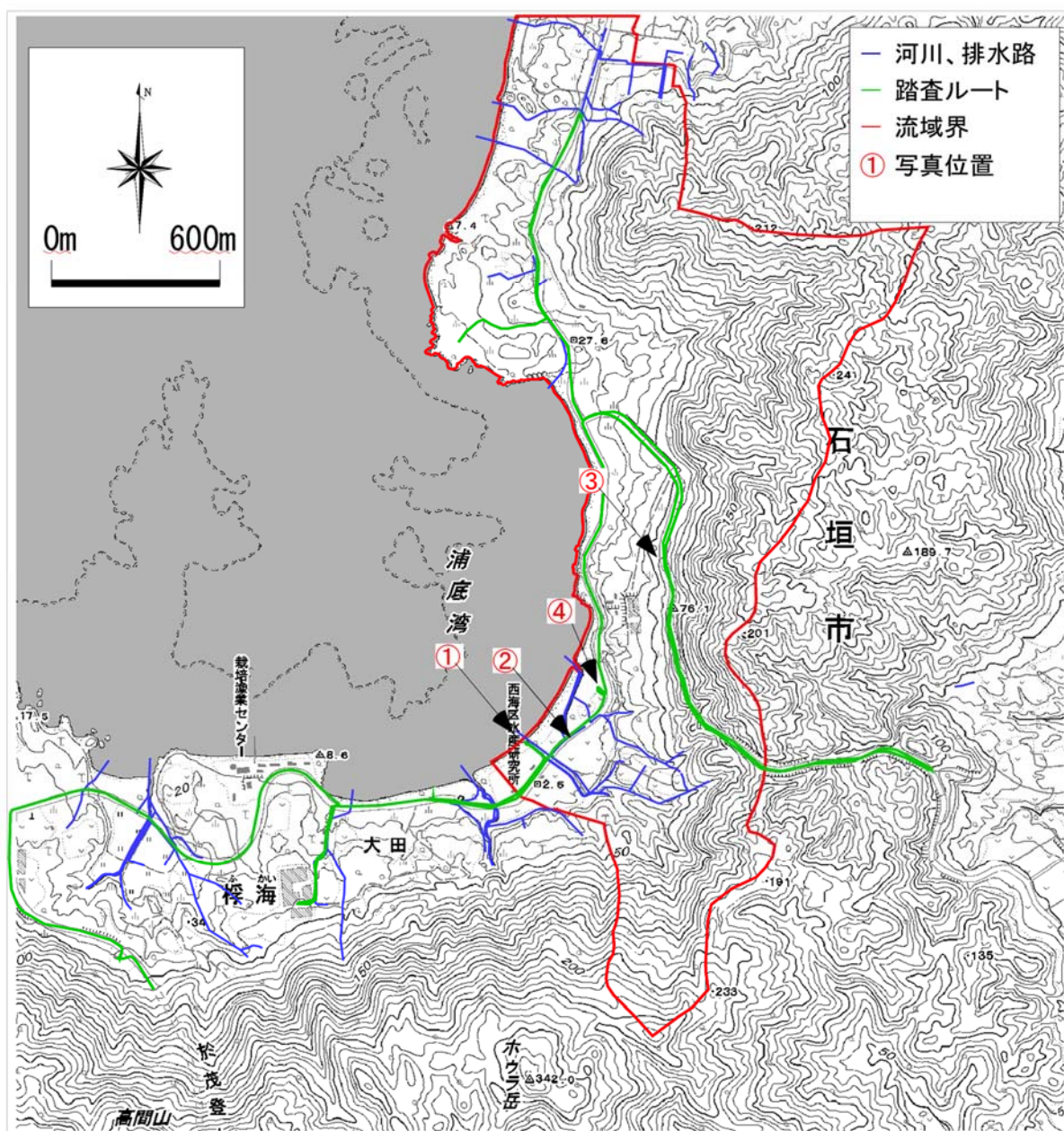


図 4.4-71 浦底湾 陸域調査概要(2回目)

- ・ 河口部においては、H26 年度 1 回目調査時流量が少ないため河口閉塞しており、また濁りも確認されなかった(地点)。



地点 河口閉塞(濁り無し)



地点 河口閉塞(濁り無し)

- ・ 流域内には、H26 年度 1 回目調査時同様に草地と山林が広がっており、流出源となりうるような箇所は殆ど確認されなかった(地点)。



地点 草地と山林が広がる。(第 1 回目地点)

- ・ H26 年度調査時に確認された 20m × 10m 程の小規模な造成裸地は、工事が完了していた(地点)。



地点 小規模な造成裸地(第 1 回目地点)

- ・ 今回の調査にて、パパイヤの栽培地が確認された(地点)。裸地が目立つが、周囲が木や砂利で囲われているため赤土流出の可能性は少ないと考えられる。



地点 パパイヤの栽培地